

# 国民生活を最優先！そのために、すべてを賭ける！



中道改革連合 公認

たかし

# しのはら孝

（77歳）

**中道改革連合で、平和を維持し暮らしが優先する政治を実現！**

○防衛費増大の戦争準備は不要

○政治と力ネ、逃がさない

○地方・農村を元気に

しのはら孝の覚悟

## しのはら孝 5つの政策

**① 戰争を準備する国ではなく、平和を築く国へ**

高市政権は防衛費のGDP 1%をすんなり上回る際限ない拡大に向かっている。敵基地攻撃能力の保有、高市政権下で強まる軍事偏重は、憲法9条と専守防衛の精神を空洞化させ、国民の命と暮らしを危うくする。今必要なのは軍拡ではなく、外交と対話による緊張緩和、現実的な努力により平和を積み上げていくことだ。大国米国にも中国にもこびへつりうつ必要はないが、敵視し敵対的になる必要はもつとない。

**② 農業予算の倍増で農村を豊かにし、地域社会の崩壊を食い止める**

先の選挙で私は、このままでは日本から水田が消えてしまうと訴えた。その危機の片鱗は、昨年の「コメ不足」によって明らかになつた。農業政策は長らく現場の声を反映してこなかつた。その結果、高齢化が進み後継者は育たず、耕作放棄地が増え続けている。

縮小の一途をたどってきた農業予算を倍増し、農業を支える基盤を立て直す必要がある。農業者戸別所得補償の拡大をはじめ、学校給食や病院給食における地産地消を積極的に推進する。さらに、地方出身者が定年後に安心して農業に参入できる仕組みを整え、農業を「地域全体で支える営み」へと転換する。

**③ 逃げ切りは許さない！  
「政治とカネ」問題を追い続ける！**

**④ 物価安定は円高誘導と賃上げで達成**

世界的に物価が上昇する中、日本だけが物価を下げる事は不可能だ。また時しのぎの補助金では、抜本的な対策にはなりません。とりわけ現政権が容認する過度な円安は、輸入物価を押し上げ、特に自給率が38%しかない食料価格が高騰し、家計への負担を一層深刻にする。金融・財政運営を見直し、实体经济に見合った為替水準を取り戻すことが不可欠だ。同時に、中小企業への支援を強化し、高度経済成長期と同じように賃上げが当たり前に続く経済へ転換することで、眞の物価安定を実現する。

**⑤ 地方との一地域居住を支援し、教育、医療を充実し、こどもたちや中高年が安心して暮らせる地域を創る**

小学校は歩いて通える距離に配置、高校は専門的な学科を設置して統合化を進め、地域に根差した教育環境を整備する。分散した公的医療機関は地域ごとに統合し、そこから過疎地域の診療所に、3年ごとに医師が駐在する仕組みを導入し、医療アクセスを改善する。すっかり定着したふるさと納税に加え、「ふるさと投票」も認め、地方に根をはる関係人口を拡大する。

## プロフィール

1948年 長野県中野市田麦生まれ(長丘小学校、中野平中学校、長野高校)
1973年 京都大学法学部卒、農林水産省入省30年間勤務
2003年第43回衆議院総選挙に出馬・初当選以来8期連続当選
2010年 菅直人内閣農林水産副大臣
2016年 TPP特別委員会野党筆頭理事
2018年 徴罰委員長
2024年 立憲民主党ネクストキャビネット環境大臣
2025年 立憲民主党代議士会会長